

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内観光地理 Domestic Tourism Geography		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(旅行業務取扱管理者試験必修)	無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内旅行実務 I、旅行関連法規、旅行業務総合演習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内旅行実務 I、旅行関連法規、旅行業務総合演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
下山 和生	講師室	水曜日 10時から16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
観光の対象となる国内の観光地理・資源について、都道府県ごとに学ぶ。 また、国家資格である「旅行業務取扱管理者試験」にも対応する授業内容である。				
授業の目標				
①国家試験対策に必要な「国内観光資源」を主に学びながら、歴史や文化と関連させて各地域の観光資源(例：自然景観、温泉地、建造物、祭り、郷土料理、特産物など)の知識を習得できるようにする。 ②国家試験合格レベルに達することができるようにする。				
授業の方法				
国家試験を見据えて、過去の試験問題を解き、また観光地の写真なども見ながら知識を深める。 国家試験合格のためには、授業以外の時間の自主的な学習も必要とされる。				
学習の成果 (学習成果)				
観光地理・資源を学ぶことにより、日本の旅をより一層楽しむことが出来るようになる。 旅行業務にとって必要不可欠な知識である観光地理に関する知識を身に付けることができ、最終的には、国家試験合格も可能である。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	北海道の観光地・祭り・郷土料理			
第3回目	青森・岩手・宮城・秋田の観光地・祭り・郷土料理			
第4回目	山形・福島・茨城・栃木の観光地・祭り・郷土料理			
第5回目	群馬・埼玉・千葉・東京の観光地・祭り・郷土料理			
第6回目	神奈川・新潟・富山・石川の観光地・祭り・郷土料理			

第7回目	福井・山梨・長野・岐阜の観光地・祭り・郷土料理
第8回目	静岡・愛知・三重・滋賀の観光地・祭り・郷土料理
第9回目	京都・兵庫・大阪・奈良の観光地・祭り・郷土料理
第10回目	和歌山・鳥取・島根・岡山の観光地・祭り・郷土料理
第11回目	広島・山口・徳島・香川の観光地・祭り・郷土料理
第12回目	愛媛・高知・福岡・佐賀の観光地・祭り・郷土料理
第13回目	大分・長崎・熊本・宮崎の観光地・祭り・郷土料理
第14回目	鹿児島・沖縄の観光地・祭り・郷土料理、および全国の世界遺産
第15回目	全国の世界遺産・国立公園

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	S評価の基準：S = 90 - 100
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

テキスト：2016年版 U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン（ユーキャン自由国民社）

履修上の留意点・ルール

チャレンジ精神旺盛で、国家試験合格を目指す学生であることを期待します。